

<防火の実務の状況>

- ・ 各国の防火技術者の状況に関しては、それぞれの国の社会的、歴史的な状況、行政の関与の違い、米国本部との関係などによって、それぞれ異なっている。
- ・ 防火に関しては行政が一定の性能設計を認めている国がほとんどである。
- ・ 防火技術者として仕事をしていくうえで資格を必要とする国は多く、日本のように無資格でできる国は少ない。
- ・ 保険会社が建物の防火に関する仕様を決めるうえで強いかわりがあるのは約半数の国である。

<支部活動の状況>

- ・ 支部活動のレベルはそれぞれに違うが、日本、台湾、ニュージーランドなどは比較的活発な活動を行っている。
- ・ 支部の持つ問題や関心事についても、防火実務の状況同様それぞれの国のおかれた歴史、社会、政治などの状況によって異なっている。
- ・ ほとんどすべての国が支部間交流の活動に対しては積極的で定期的な会議やセミナーの開催を提案している。
- ・ いくつかの国は、互いの国の離れている距離や、コロナウィルスの感染状況を踏まえてオンラインによる会議やセミナーの開催を提案している。